

第106回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第10日目 7月21日(日)

準決勝		楽天命パーク宮城		2時間 43分				打安点盗犠四三残失併	
古川学園	0 0 0	0 0 0	0 1 1			2		【古】	30 5 1 2 1 3 8 5 3 1
仙台育英	0 4 0	0 0 0	0 1 X			5		【仙】	28 8 4 2 2 6 5 7 1 0
(球) 佐藤圭 (一) 雁部博昭 (二) 小倉貴仁 (三) 武田徹									
【古】	木谷, 佐藤遥, 秋山, 櫻井, 桐生			—		高島		▽本塁打	なし
【仙】	武藤, 内山, 佐々木広, 山口			—		川尻, 細田		▽三塁打	土屋, 佐々木義(仙)
▽暴投	なし					▽捕逸		なし	高島 (古)
								▽二塁打	鈴木 (仙)

【評】

仙台育英4人の継投で古川学園打線を5安打2得点に抑え、3年連続決勝進出。

仙台育英は、2回6番土屋のライトオーバーの三塁打から作った一死2・3塁のチャンスに9番今野の投前のスクイズで1点。さらに二死2・3塁から2番阿部、3番湯浅の長短打で3点を加え一気に試合の流れを作った。追う古川学園も、5人の投手を繰り出し、3回以降よく抑え、8回には7番関屋、8番高島の長短打で1点を返す反撃を見せたものの、仙台育英の4人の投手の前に抑えられ準決勝で涙を飲んだ。

準決勝		楽天命パーク宮城		2時間 47分				打安点盗犠四三残失併	
聖和学園	0 0 2	0 4 1	0 2 0			9		【聖】	35 12 8 0 5 5 3 9 2 1
仙台商業	1 0 0	0 4 0	2 0 0			7		【仙】	32 9 7 1 3 4 6 5 3 2
(球) 野田学 (一) 西山充 (二) 森山宏則 (三) 菅原幸									
【聖】	齋藤佑, 千葉			—		遠藤		▽本塁打	佐藤(聖)
【仙】	大友, 井口, 伊藤, 熊坂天			—		山路, 佐藤志, 道下		▽三塁打	熊坂勇(仙)
▽暴投	伊藤1(仙)					▽捕逸		なし	三浦, 小川, 中善寺 (聖)
								▽二塁打	なし (仙)

【評】

2大会ぶりの決勝進出を目指す聖和学園と2007年以来の決勝進出を目指す仙台商業の一戦。先制したのは仙台商。1回裏二死二塁から4番郷家が中前適時打で1得点して主導権を握った。3回表、聖和の攻撃。四球と安打、犠打で一死二三塁をつくと3番遠藤の内ゴロ、4番佐藤雄の左前適時打で2点を挙げ逆転に成功した。

2対1でむかえた5回表、聖和の9番松岡の内野安打、1番三浦の左前安打で好機をつくと一死二三塁で4番佐藤雄が3点本塁打を放つと更に1点を追加し6対1とした。5回裏、仙台商の攻撃。8番代打大久保の二失、9番山路の中前安打で無死一二塁とすると1番熊坂勇の右越2点適時三塁打、4番郷家の中前適時打で得点を追加して4点を挙げ、6対5と追い上げた。

5対7でむかえた7回裏、仙台商は死球と安打で一死二三塁とすると、5番佐藤のスクイズ、6番佐々木の右前適時打で2点を挙げ7対7の同点と追いついた。

試合を決めたのは聖和。8回表、2つの失策と申告敬遠で一死満塁とすると、2番中善寺の2点左中間適時打で9対7として粘る仙台商を振り切った。仙台商は、粘りの攻撃と伝統校らしい試合運びをみせたが、一歩およばず悔しい敗戦となった。